

2014年5月23日

2014年3月期 通期

(2013年4月～2014年3月)

連結決算説明資料

株式会社MCJ

東証マザーズ:6670

Contents

- 1. 決算ハイライト ▶▶▶ P. 2

- 2. 経営方針・事業体制 ▶▶▶ P. 12
及び2015年3月期の見通し

連結業績サマリー

増収増益となり、各利益は過去最高益を更新

累計期間（4～3月）

- 「Windows XP」のサポート終了に伴う買い替え需要により、主力の完成品PC販売が好調となり、期を通じて前年比2桁の増収
- 第3四半期以降、aprecioを取り込んだことが増収に寄与

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	対前年比
売上高	85,866	104,003	+ 21.1%
営業利益	1,808	4,061	+124.5 %
経常利益	1,737	4,005	+130.6 %
当期純利益	1,054	1,812	+71.8 %

(単位:百万円)

会計期間（1～3月）

- 買い替え需要に加え、消費税率引き上げによる駆け込み需要も加わり、大幅な増収
- のれんの減損損失等により1,004百万円の特別損失計上

	2013年3月期 第4四半期	2014年3月期 第4四半期	対前年比
売上高	24,317	34,240	+ 40.8%
営業利益	849	1,481	+74.3 %
経常利益	872	1,506	+72.6 %
四半期純利益	446	394	-11.7 %

※2013年3月期の売上高及び営業利益は組替後の数値となっております。

(単位:百万円) 2

連結業績予想比

昨年10月末時点での予測値を大幅に上回って着地

	2014年3月期 通期 実績	2014年3月期 通期 10/29修正予想	達成率
売上高	104,003	88,614	117.4%
営業利益	4,061	2,871	141.4%
経常利益	4,005	3,004	133.3%
当期純利益	1,812	1,689	107.3%

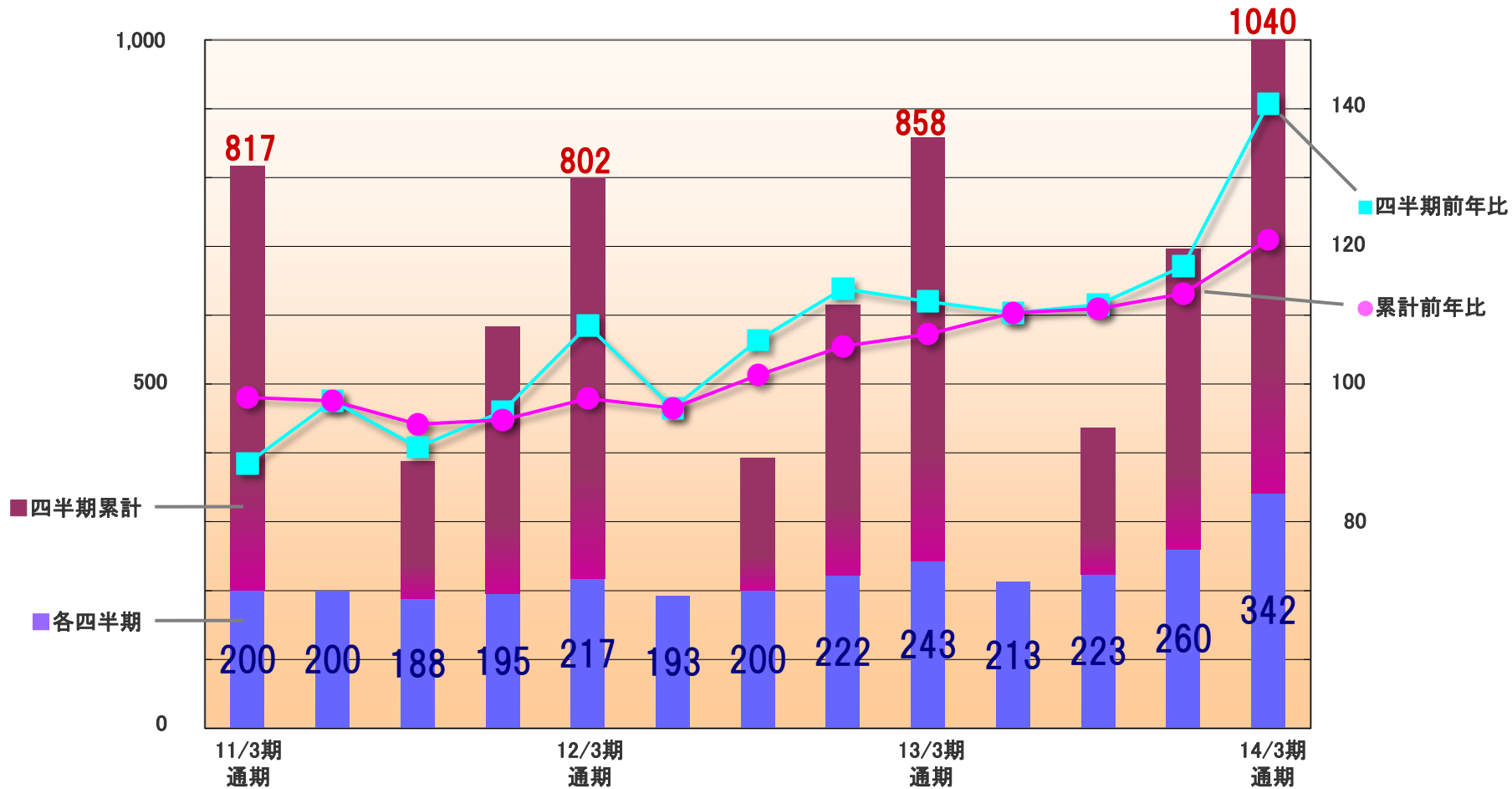
(単位:百万円)

連結売上高推移

1,000億円を突破し、過去最高売上高に迫る

連結売上高
(単位:億円)

前年同四半期比
(単位:%)



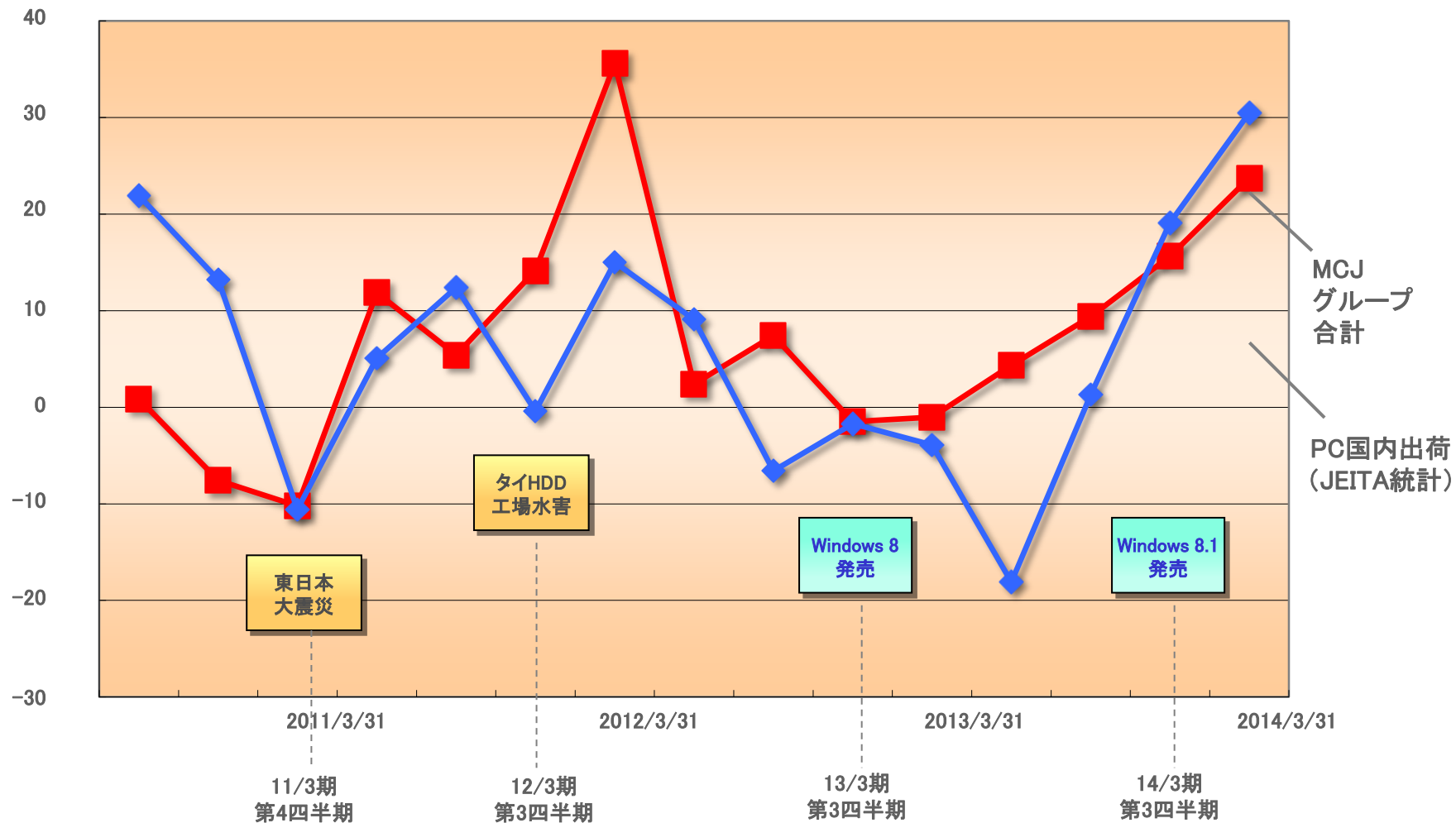
※2013年3月期の売上高及び営業利益は組替後の数値となっております。

PC出荷台数

国内PC出荷台数の伸び率を大きく上回る実績

前年同四半期比
(単位: %)

PC出荷台数前年比



連結業績前年比

販管費率が低下し、営業利益率が1.8ポイント改善

	2013年3月期 通期		2014年3月期 通期		前年比 増減	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	85,866	100.0%	104,003	100.0%	18,137	—
売上原価	70,893	82.6%	85,017	81.8%	14,123	-0.8%
売上総利益	14,972	17.4%	18,985	18.2%	4,013	+0.8%
販管費	13,163	15.3%	14,924	14.3%	1,760	-1.0%
営業利益	1,808	2.1%	4,061	3.9%	2,252	+1.8%
経常利益	1,737	2.0%	4,005	3.9%	2,268	+1.8%
税引前純利益	1,645	1.9%	3,004	2.9%	1,359	+1.0%
当期純利益	1,054	1.2%	1,812	1.7%	757	+0.5%

※2013年3月期の売上高及び営業利益は組替後の数値となっております。

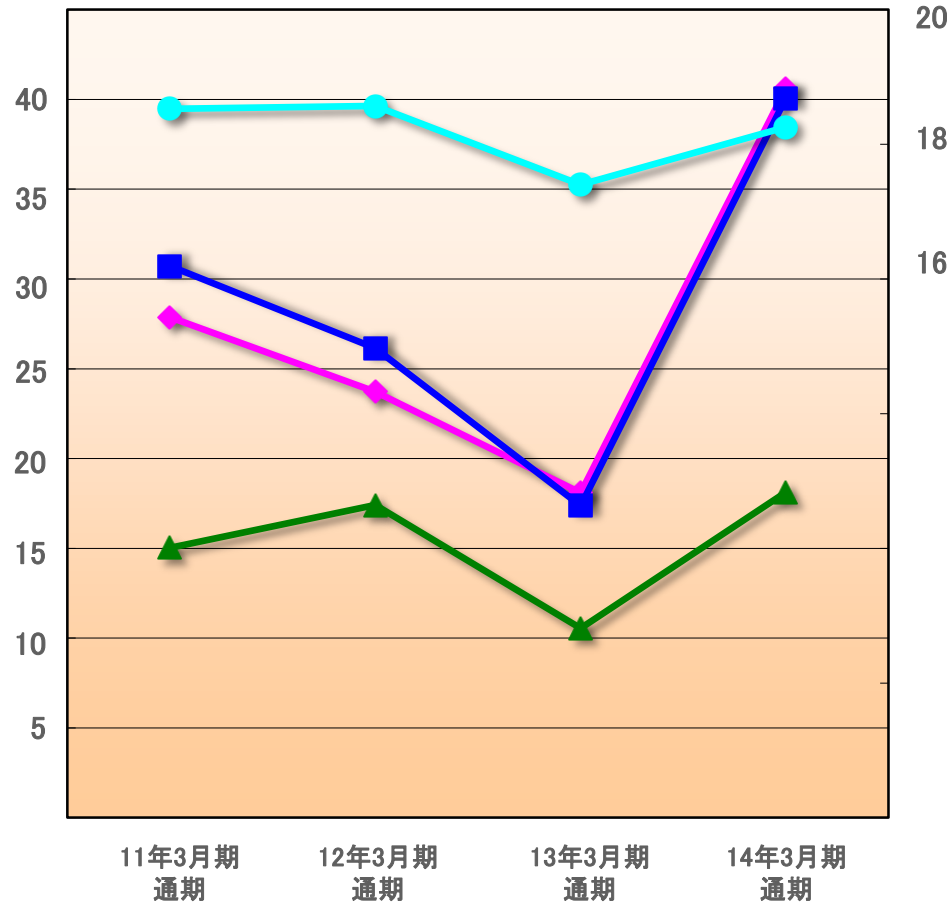
(単位:百万円)

連結利益推移

営業・経常利益ともに40億円を突破し過去最高益に

累計利益額
(単位:億円)

粗利率
(単位:%)



粗利率 18.2%

- 完成品PCの生産子会社間における各機能の統合効果等により、粗利率が0.8ポイント上昇

営業利益 40.6億円

- 増収により粗利増
- 販管費率は前年比で1.0ポイントの改善を実現

経常利益 40.0億円

- 営業外収益は主に受取利息と受取手数料
- 円安により97百万円の為替差損を計上

当期純利益 18.1億円

- 出版子会社ののれんの減損損失等により1,004百万円の特別損失を計上するも、過去最高益を達成

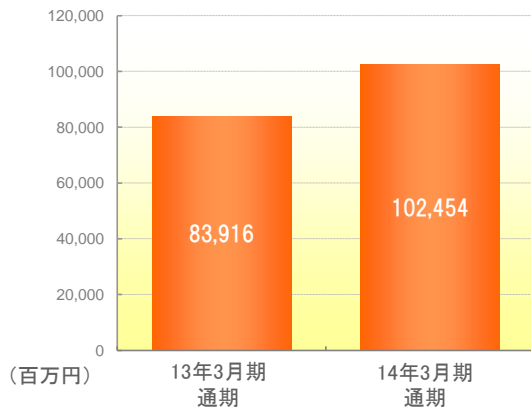
※2013年3月期の売上高及び営業利益は組替後の数値となっております。

セグメント情報

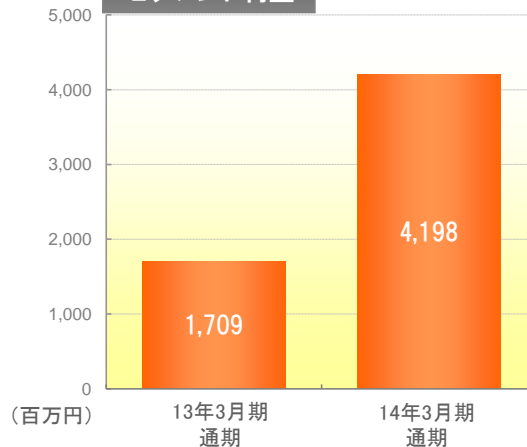
PC事業は増収増益、出版事業は減収減益

■ パソコン関連事業

売上高



セグメント利益



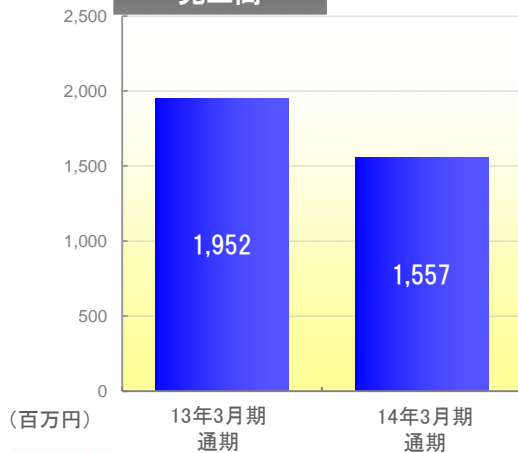
主な要因

- 完成品PCの販売が総じて好調となり、とりわけ法人・商社向けが大きく増加。
- パーツの代理店販売においては、新規商材の販売が好調。
- PCモニタの欧州販売は、汎用モニタが伸び悩んだものの、産業用タッチモニタが好調。円安ユーロ高も寄与。

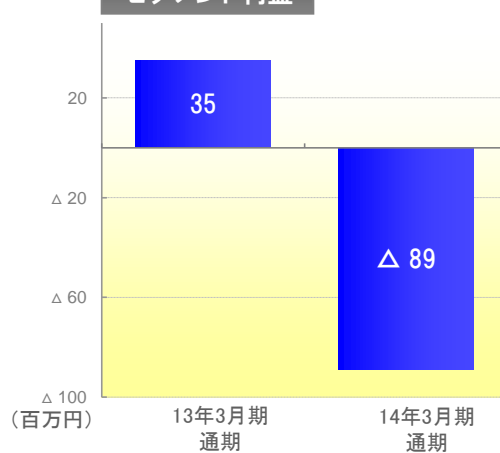
※2013年3月期の売上高及び営業利益は組替後の数値となっております。

■ メディア事業

売上高



セグメント利益



主な要因

- 出版市場の縮小が続く中、PC関連書籍の販売が低調に推移し、減収減益。
- 下期で若干持ち直したものの、累計期間では損失。

パソコン関連事業

PC事業主要各社の2014年3月期業績

■ マウスコンピューター(単体)

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	対前年比
売上高	20,315	27,904	137.4%
経常利益	123	1,125	908.5%
当期純利益	156	667	426.9%

(単位:百万円)

■ デスクトップPCを中心に法人・個人問わず需要拡大

■ テックウインド(単体)

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	対前年比
売上高	31,159	36,496	117.1%
経常利益	487	446	91.5%
当期純利益	329	257	78.2%

※2013年3月期通期の経常利益には、子会社からの配当金1億円が含まれております。

(単位:百万円)

■ 既存製品の他、NASシステム、タブレットPC等が好調

■ iiyama Benelux(単体)

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	対前年比
売上高	9,027	11,840	131.2%
経常利益	1,062	1,391	131.0%
当期純利益	797	1,046	131.1%

(単位:百万円)

■ 円安ユーロ高の影響の他、産業用タッチモニタが好調

■ ユニットコム(単体)

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	対前年比
売上高	30,067	37,281	124.0%
経常利益	42	986	2310.7%
当期純利益	△ 260	594	— %

(単位:百万円)

■ 不採算店舗を整理し業績回復。不動産事業も寄与。

■ 連結キャッシュフロー

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期
営業活動による キャッシュフロー	△1,192	6,011
投資活動による キャッシュフロー	△839	△1,365
財務活動による キャッシュフロー	1,479	△2,344

(単位:百万円)

前年との比較
■ 当期純利益の増加及び仕入債務の増加等
■ aprecioを買収
■ 短期借入金を圧縮

■ 財政状態

	2013年3月期 期末	2014年3月期 期末
総資産	42,251	49,490
純資産	17,928	21,153
自己資本比率	41.8%	42.1%
現金及び現金同等物	9,445	12,729
有利子負債	14,262	13,978

(単位:百万円)

前年との比較
■ aprecio買収により総資産増加
■ 当期純利益の計上等により利益剰余金及びその他の包括利益累計額合計が増加
■ 有利子負債が現預金を上回るが、財務的な健全性は引き続き維持

配当性向を15%とし、5円46銭の配当を実施予定

	2012年 3月期(実績)	2013年 3月期(実績)	2014年 3月期(予定※)
年間1株当たり 配 当 金	5円14銭	3円26銭	5円46銭
配 当 性 向 (連 結)	15.0%	15.6%	15.0%
純資産配当率 (連 結)	1.7%	1.0%	1.4%

※平成26年6月27日開催予定の当社定時株主総会においてご承認いただくことを条件とします。

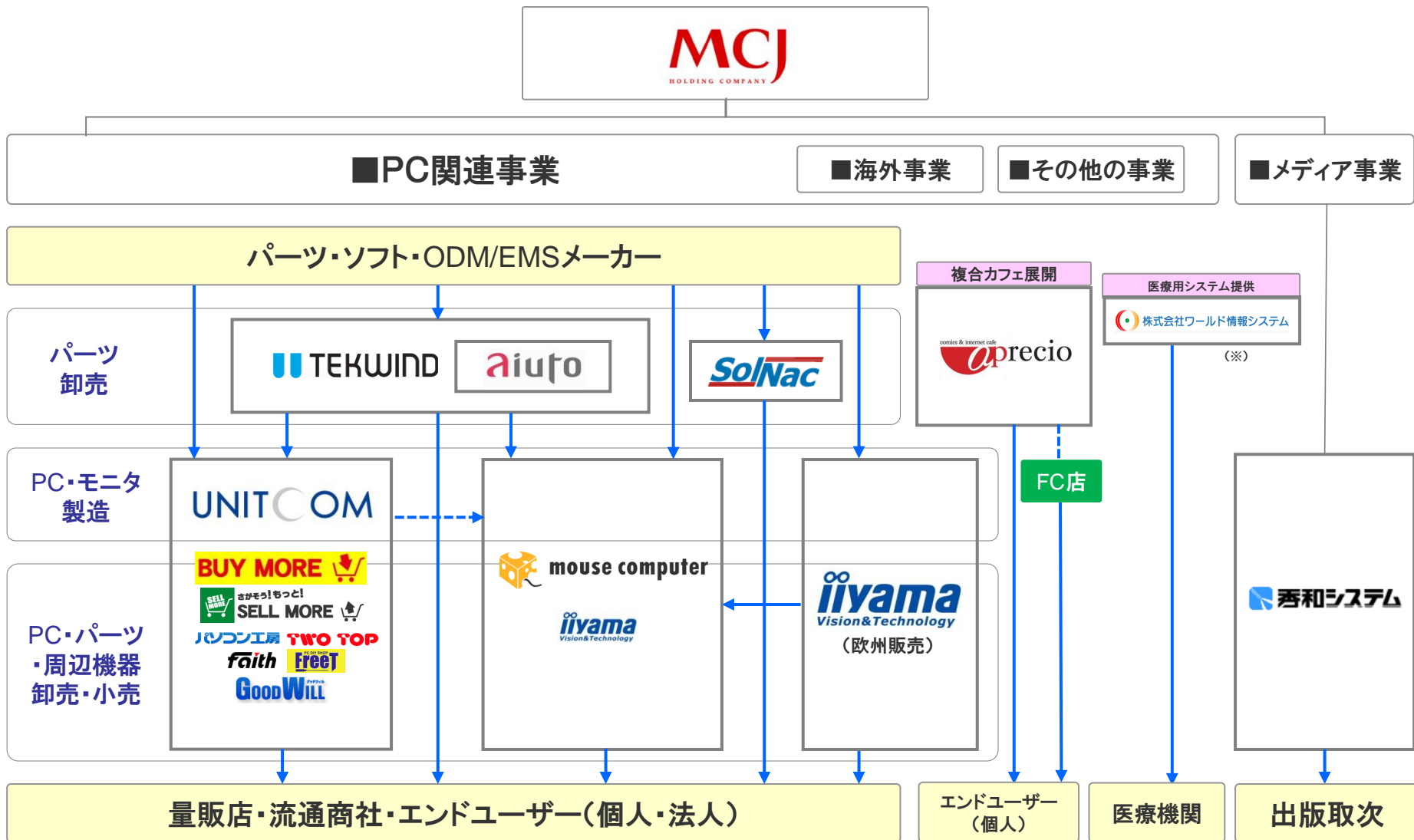
■ 自己株式の取得

平成26年5月14日付取締役会決議にて、120万株(発行済株式総数の2.4%)
又は3億円を上限とする自己株式の取得を決定

経営方針・事業体制 及び2015年3月期の見通し

グループ体制

M&Aの実施により国内連結子会社は8社に



※平成26年5月30日付で株式取得予定

■ 事業内容

インターネット複合カフェの運営

※平成25年8月30日株式取得



◆ サービスコンテンツ

コミック・インターネットの提供、飲食提供、ドリンクバー設備、カラオケ・デジタルダーツ・ビリヤード設備等



◆ 店舗展開

東海地区を中心として直営店19店舗

FC店52店舗 → 全国で計71店舗

※平成26年5月22日現在



◆ 今後の事業展開

既存店の収益基盤強化及び新店出店による売上拡大

■ 事業内容

整骨院等向けレセプトシステムの開発及び販売

※平成26年5月30日株式取得予定

販売実績西日本No.1から全国へ 整骨院専用レセプトシステム「れ・セボーンプラス」

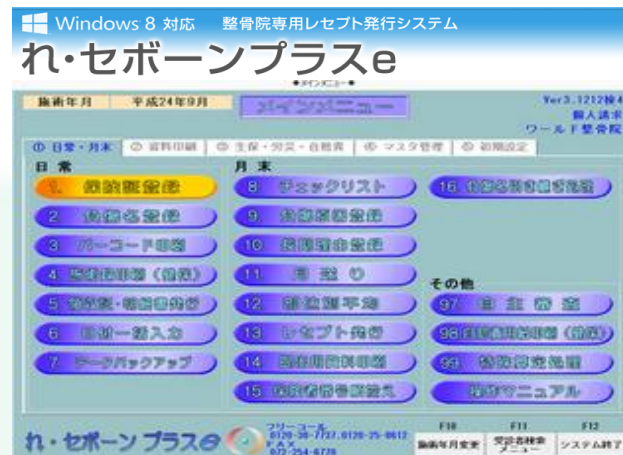
株式会社ワールド情報システム

資料請求はこちらから! お問い合わせ 受付時間 10:00~17:00 ☎0120-25-8612 ✉info@world-sys.com

進化し続けるサポート力

- ご挨拶 GREETING
- 会社概要/事業概要 ABOUT
- 商品案内 PRODUCTS
- サポート概要 SUPPORT
- 求人情報 RECRUIT
- お問い合わせ CONTACT
- 会員様ログイン MEMBER LOGIN

全国トップクラスの販売実績を誇る 整骨院専用レセプトシステム



◆ サービスコンテンツ

- ✓ レセプトシステムの開発・販売
- ✓ 納品後のアフターフォロー全般
- ✓ 整骨院開業支援・就職支援
- ✓ 保険請求実務に関する講師派遣



◆ 主要顧客

全国で3千弱の整骨院等(関西圏中心)



- グループ子会社の販売網を利用した新規顧客開拓
- グループ内におけるハード・ソフト両面の様々な経営資源・ノウハウの提供により、さらなる事業拡大を目指す

PC事業の取り組み

完成品PCビジネスも着実に改革・進化

新ブランド展開 iiyama



「iiyama」ブランドの活用

- 中古PC通販「デジタルドラゴン」の営業譲受



- アニバーサリーモデル発売
- アニメ、ゲーム制作会社とのコラボレーションモデルの発売



重複機能の統合

UNITCOM

生産・購買・コールセンター・
修理業務委託

機能提供



mouse computer



マスコットキャラクターの展開

- 「ゲームパソコン&PC-DIY EXPO」の共同開催

ゲーミングPC販売強化



店舗サポート強化+月額会員制サービス開始



- 店舗(13店舗)の統合・スクラップ



G-TUNE GARAGEオープン(秋葉原)



2015年3月期

【日本国内におけるPC市場】

- 「Windows XP」のサポート終了に伴う買い替え需要の一巡に伴う反動
- 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響による買い控え
- スマートフォン及びタブレット端末のさらなる普及

厳しい状況が続くことが予想される

- ✓ 残存する買い替え・買い増し需要の確実な取り組み
- ✓ 必要に応じて事業モデルの一部見直しや将来に向けた投資を実施
- ✓ グループ横断での事業・機能の配置最適化(シナジーの最大化)
- ✓ M&Aを有効な選択肢の一つと考えつつ、新規事業を育成・獲得

業績予想

減収ながら、効率的な経営体制を維持し適切な収益確保を目指す

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	42,251	1,170	1,171	793
売上高比率	-	2.8%	2.8%	1.9%
対前年同期率 対増減	△3.3%	△18.7%	△24.7%	△7.4%
通期	89,496	3,380	3,378	2,176
売上高比率	-	3.8%	3.8%	2.4%
対前年率 対増減	△13.9%	△16.8%	△15.7%	20.1%

(単位:百万円)

- 国内景気は改善に向かうと考えられるが、買い替え・駆け込み需要の反動が予想され、また、国内PC市場はスマートフォン及びタブレット端末との競合により厳しい状態が続くと予測されるため、減収を見込む。
- 引き続き販管費の抑制に努め、かつ、収益性を重視した製品展開・営業活動を進める。当期純利益については、増益を見込む。

配当予想

配当性向15%を維持し、確実な配当実施を見込む

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期(予定)
年間1株当たり 配 当 金	3円26銭	5円46銭	6円55銭
配 当 性 向 (連 結)	15.6%	15.0%	15.0%
純資産配当率 (連 結)	1.0%	1.4%	—

■本資料取扱上のご注意

本資料に記載された業績予想および将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・記載したものであり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用・転載等をご遠慮ください。

【お問合せ先】

IR担当

TEL:03-5821-7114

<誤記に関するお詫び>

当社ホームページに掲載しております「2014年3月期 第3四半期決算説明資料」4ページ目、「PC出荷台数」グラフ部分において、「14/3期 第3四半期」における「PC国内出荷(JEITA統計)」の数値及びグラフ表記に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、本資料5ページ目において、数値及びグラフ表記を訂正させていただきます。